

余新地区地域協育ネット協議会(柳井西中校区)



7月30日(木)に柳井西中で開催されました。前半は「災害から身を守るために私にできること」と題して山口県学校防災アドバイザーの弘中秀治さんの講演がありました。講演後8グループに分かれて熟議を行いました。グループの構成は、地域(学校運営協議会委員を含む)・教職員・児童生徒で、地域では様々な団体が参加しました。「災害に遭遇したらどうなるか。」を考え、出てきた困りごとをもとに困らないようにするために「明日からできそうなこと。」「ぜひ広めたいこと。」について考えを出し合いました。テーマが身近なもので現実的な課題でした。防災への取り組みは地域全体の取り組みであり、地域づくりにつながるものですね。熟議では、それぞれの立場での意見が出されより深い意見交換になりました。出された意見を是非具現化に繋げたいですね。

しらかベネット(柳井中学校区)



8月7日(金)に 柳井中学校で「しらかベ熟議」が開催されました。テーマを「柳井をもっとおもしろく!～みんなのアイデアを形にする熟議」とし、中学生は、あらかじめ自分たちの考えを持って参加しました。グループ(中学生・学校・地域の方)に分かれて「柳井のよさを生かし、柳井をもっと面白くするアイデア」を一緒になって考えまとめていく形で行われました。中学生の考えをもとに地域の方々が自分の思いを発言されていました。中学生にとっては、地域の方からの違った視点での意見を聞くことで自分の考えを再考したり、深めたりすることができ、考えの多様性を学ぶことができたと思います。さらに街づくりへと進めていくためには、出された意見を具現化していくことが大事になります。そのためには実現に向けてさらなる熟議を行い、焦点化することが必要となります。中学生の生徒さんも10年もたてば大人として柳井の街づくりの担い手となることを思えば、中学生が考える「もっとおもしろい柳井にするためのアイデア」を地域総がかりで実現していけるといいですね。

思い

うずしおネット(大畠中学校区)

形に



6/11(木)「未来の大畠」をテーマに子どもたちが事前に考えた意見をもとに地域・学校・保護者・児童生徒で熟議が行われました。どうすれば中学生の意見を実現できるかという観点でいろいろな意見が出されました。熟議が行われた後に、ここで出された意見を実際に実現するために地域が一体となって取り組まれました。中学校1年は街をきれいにしたいと「クリーン作戦」を地域と一緒に取り組み、2年生は「ご当地アイドルで町の活性化を図る」というコンセプトで、ご当地アイドルとして実際に地域の祭りに出演しました。3年生は、柳井まつりでの販売に向けて現在「橘香酢の商品化」を高校生と一緒に考案しています。中学生の考えの具現化に地域が一体となって取り組んでいる素晴らしい実践ですね。